



文部科学省 第5回トランスレーショナル・リサーチ研修会 プログラム

日時： 平成19年3月2日（金） 13:00～17:00
場所： （財）先端医療振興財団 臨床研究情報センター 2階 第1研修室
主催： （財）先端医療振興財団
テーマ： トランスレーショナルリサーチ（TR）からクリティカルパスリサーチへ

- 開会の挨拶 (13:00～13:05)
臨床研究情報センター 村上 雅義
1. クリティカルパスリサーチの国家的基盤整備の必要性 (13:05～13:40)
(1) 文部科学省がんTR事業の教訓からクリティカルパスの革新へ
臨床研究情報センター 永井 洋士
(2) FDAレポートにみるクリティカルパスリサーチの好機と障害
京都大学医学部附属病院 探索医療臨床部 村山 敏典
2. 試験物製造の円滑化にむけて (13:40～14:15)
(1) アカデミアからの蛋白質製造の技術移管と効率的プロセス開発
東北大学大学院工学研究科 熊谷 泉
(2) 蛋白製剤の委託製造スキームとその障害
東京大学医学部附属病院 千葉 滋
3. 臨床反応評価ツールの開発の促進 (14:15～15:05)
(1) PETを用いた新規薬物に対する臨床反応の評価
先端医療センター 千田 道雄
(2) 臨床反応評価ツールとしてのMRの可能性と現状
京都大学大学院医学研究科 富樫 かおり
(3) バイオマーカーを用いた臨床効果予測の可能性
国立がんセンター 西條 長宏
- 休憩— (15:05～15:15)
4. 臨床試験の合理化にむけて (15:15～16:20)
(1) 早期臨床試験デザインの革新
臨床研究情報センター（京都大学医学部附属病院 探索医療センター） 手良向 聡
(2) 臨床反応計測法の改善—がん免疫療法における経験—
三重大学大学院医学系研究科 珠玖 洋
(3) ファーマコゲノミクス試験の現状と将来
武田薬品工業株式会社 劉 世玉
(4) IT技術を利用した臨床試験の合理化・自動化
臨床研究情報センター 石戸 是亘
5. クリティカルパスの合理化に向けた総合機構の取り組み (16:20～16:40)
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 田中 克平
- 総合討論及び閉会の辞 (16:40～17:00)
臨床研究情報センター（京都大学医学部附属病院 探索医療センター） 福島 雅典